

聖くなければ

2025年6月15日

ヘブル人への手紙 12章12～17節
ローマ人への手紙 14章
イザヤ書 35章 (主の癒し・救い)
創世記 25章、27章 (エサウ)

序：気落ちして弱っている者、信仰生活が命、喜びを欠いた状態にある者へ励まし
天に召されるまでの信仰者の歩み：競走(1節) 忍耐して完走すること

- I. 競走者は全員ゴールに入らなければならない
弱った手を強め、衰えた膝をしっかりさせよ
霊的に弱った者の為：道筋を平らにする(脱臼して競走を途中で断念しないため)
教会のうちに、信仰がある
互いに励まし合う
弱い者への配慮をする

神は、霊的に弱く、気力、体力の欠乏している者に走る力を与える(主の癒し)
イザヤ 40・31
しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼を広げて上ることが
できる。走っても力衰えず、歩いても疲れない。

- II. 聖さを追求めてこれを得よ
(1)出エジプトを導かれた主は聖なる方 レビ 11・45
ゆえに、あなたがたも聖なる者となれ
(2)聖くなければ、主を見ることはできない マタイ 5・8
(3)すべての人との平和を追求せよ
∴キリストによって、キリスト者は神との平和を持っている

- III. 神の恵みから落ちないように、離れないようにせよ
(1)新生も聖化も神の恵み
∴恵みなくして信仰生活は成り立たない
(2)恵みから落ちるのは
恵みが不十分とか欠陥があるのではない
この世の価値観、目に見える世界が与えるものへの傾倒・執着
目には見えないが、生きて働かれる真の神、聖なる神が生活の中心でない
(3)苦い根を侮ってはいけない
古い人(生まれながらの罪深い性質)の残存 = 不信仰
機会があれば、いつでも生え出て来ようとしている
聖徒個人を悩ますだけでなく、教会内にもはびこり、悪影響を与える
互いに留意、警戒が必要

申命記 29・18
万が一にも、今日その心が私たちの神、主を離れて、これらの異邦の民の
神々のもとに行って仕えるような男、女、氏族、部族があなたがたのうち
にあってはならない。あなたがたのうちに、毒草や苦よもぎを生じる根が
あってはならない。

Ⅳ. 神の恵みから落ちたエサウ

淫らな者、俗悪な者

(人間的に見れば、ヤコブより好感を持たれた?)

(1) 俗悪な者

霊的な事に無関心・無頓着

大切な長子の権利を一皿のレンズ豆の煮物と引き換えにした

地上のもの、物質的なもの、一時的なものに価値と関心の中心を置いた

弟ヤコブ

狡猾で、兄と父を、母と共謀してだまし陥れた(倫理的には不可)

天にある神の都を相続財産として受け取ることを優先

アブラハム、イサクとともに神の約束の相続者となり、甚大な霊的祝福享受

長子の権利を空腹に負けて手放した愚かさに気がついた時は手遅れ

後になって、受け継ぎたいと願ったが退けられた

祝福は複数ある、自分も受けられる、悔い改めれば後でも間に合うと樂觀

神も家族も甘く見た結果 チャンスはもうなかった

Ⅴ. 結び

(1) 私たちも弱い、迷いやすい者、競走を走り抜くには忍耐が必要

(2) 競走者は順位を決める目的よりも、ゴールに入るのが目的

互いはライバルではなく、助け合い、励まし合って全員の完走に配慮が必要

(3) 信仰生活のスタートも御国に入れられる途上も、すべて神の恵みによる

信仰を与えてくださったばかりか完成まで導いてくださるのは恵み深き神

(4) すべての人との平和を追い求めるとき留意すること(人間関係は永遠のテーマ)

何もかも妥協することではない

自分を知り、相手を知る(よきも悪きも)

他人と過去は変えられない 変えられるのは自分と目の前に置かれた時間

金銭の貸し借りはしない

拡散したらよくないことは、自分のところで留めておく

賛辞・感謝を要求しない 恩に着せない

時間・財・賜物など出し惜しみしない

(5) 「聖さ」がなければ、主を見ることはできない

回心後に犯す罪で、気づいたものは悔い改める ⇒ 主の赦し

罪の根をはびこらせて、自分もほかの人たちにも害を及ぼさないようにする

俗悪な者となって神の恵みから落ちないように

地上にばかり行き巡る目を天に向ける

優先順位をつけるとき何を基準とするか

永遠 VS 一時的、 神 VS 世、 神のみこころ VS 人間の都合

「聖さ」は神の際だったご性質

父に似る子ども、兄に似る弟妹、神の子ども同士の共通の性質

見せかけの聖さではなく、真の聖さにあずかっていけるよう、主に祈り従おう

聖霊の御業に委ねよう